

殺虫剤

ISKテルスター水和剤



殺虫剤分類

3A

農林水産省登録	第23431号
有効成分	ピフェントリン・・・・・・・・・・ 2.0%
性状	類白色水和性粉末 45 μ m 以下
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	5年
包装	(100g $\times$ 10袋) $\times$ 6函 500g $\times$ 20袋

特長

✓ 幅広い殺虫スペクトラム
チョウ目害虫、アブラムシ類、カメムシ類、ヨコバイ類などのカメムシ目害虫、アザミウマ類など多くの害虫にすぐれた効果があります。

✓ 速効的な殺虫効果
速効性にすぐれ、散布直後から強い殺虫効果を示します。また、効果の持続性が長く、少ない散布回数で高い防除効果が得られます。

✓ ハダニ類にも有効
ハダニ類にも高い活性を示し、リサージェンス（異常増殖）が起こりにくいピレスロイド剤です。

✓ 汎用性のある殺虫剤
適用作物幅が広く、汎用性のある殺虫剤です。

適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピフェントリンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ カメムシ類	1000～2000倍	200～700 ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	アブラムシ類 ワタミヒゲナガ ゾウムシ	1000倍			1回		1回
りんご	モモシンクイガ キンモンホソガ ギンモンハモグリガ ハマキムシ類 アブラムシ類 リンゴハダニ ナミハダニ						2回以内
なし	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ナシチビガ アブラムシ類 ハダニ類	1000～2000倍		2回以内	2回以内		
	カメムシ類	1000～2000倍					
もも	モモハモグリガ アブラムシ類 カメムシ類	1000倍		1回	2回以内		
ぶどう	チャノキイロア ザミウマ						2回以内（散布は1回以内、くん煙は1回以内）
かき	カメムシ類 チャノキイロア ザミウマ	1000～2000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
	カキクダアザミウマ ハダニ類 カキノヒメヨコバイ	1000倍					
びわ	アブラムシ類 オオタバコガ カメムシ類	1000～2000倍		収穫前日まで	1回		2回以内
あけび（果実）	アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで				
ハスカップ		1000～1500倍	収穫21日前まで				
ばれいしょ		1000～1500倍	収穫3日前まで	4回以内			
あずき	アズキノメイガ	1500倍	100～300 ℓ	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	1000倍	150～300 ℓ	3回以内	4回以内	3回以内	
すいか	アブラムシ類 ハダニ類					4回以内	3回以内
メロン	アブラムシ類 ハダニ類 タバココナジラミ類 （シルバーリーフコナジラミを含む）			4回以内	3回以内		
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ ハダニ類					4回以内	2回以内
キャベツはくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ アブラムシ類	4回以内		4回以内			
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1000倍		収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
だいこん	アブラムシ類	1000～1500倍		収穫21日前まで			
		250倍		25 ℓ			

てんさい	ヨトウムシ	1000～1500倍	100～300 ℓ	収穫7日前まで	4回以内	4回以内
	カメノコハムシ	1500倍		収穫3日前まで	3回以内	
	ハダニ類					
だいず	アブラムシ類	1000倍	200～400 ℓ	摘採14日前まで	2回以内	2回以内
いんげんまめ	アブラムシ類 インゲンマメゾウムシ					
	アブラムシ類					
パセリ	アブラムシ類					
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ カンザワハダニ ヨモギエダシャク	1000倍	200～700 ℓ	収穫30日前まで	3回以内	3回以内
	アズキノメイガ ハダニ類 アサトビハムシ					
たばこ	ヨトウムシ アブラムシ類 オンシツコナジラミ	1500倍	25～180 ℓ	収穫10日前まで	3回以内	3回以内
芝	スジギリヨトウ シバツトガ		300㎖/㎡	発生初期		
ばら きく カーネーション	ハダニ類	1000倍	150～300 ℓ	—	6回以内	6回以内
樹木類	ケムシ類		200～700 ℓ	発生初期		

※本内容は2018年3月28日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項



- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ・ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ・ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ・ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用をさけること。
- 本剤をてんさいに対して希釈倍数250倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 本剤の散布の際に着用していた衣服は養蚕作業に用いるものと区別すること。
- ばら、きく、カーネーションに使用する場合、収穫間際の散布は葉や花に汚れを生じる場合があるのでさけること。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項



- 取扱いに十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験で筋弛緩薬（メトカルバモール製剤等）の投与が有効であると報告されている。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

魚毒性等

- ・水産動植物（魚類・甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。